

一般質問

一般質問とは、市の事務や市が抱える課題等について市長などにたずねるもので、**6月定例会では17名の議員が一般質問を行いました。**ここでは広報委員会、事項別に整理した一部の内容を掲載しています。

一般質問の全文は、8月中旬作成予定の本会議録を図書館や鎌倉市議会ホームページ内「会議録検索システム」でご覧ください。

子育て・保育

本市における子育て・保育について、次のような質問が行われました。

質問：鎌倉の子どもたちがどういうふうな育つてほしいのか、市長は、どのような理想を持っているか。
市長：何よりも、自分のことより他人を思いやる心を持ち、かつ鎌倉の長い歴史の様々な先人の方々の思いや努力、そういうことを誇りに思いながら、次世代を切り開いていける大人になってほしいと思っています。

質問：市長は、子どもを育てていくには、今、鎌倉で何が足りないのか、また、今の世の中で何が足りないか。
市長：市長は、子どもを育てていくには、今、鎌倉で何が足りないのか、また、今の世の中で何が足りないか。

質問：認可保育所は認可外保育施設より1年間程度で約2300万円多くなっている。この差額の大きな要因は、保育士の配置基準が違っていることによるものであるか。
市長：認可保育所は認可外保育施設より1年間程度で約2300万円多くなっている。この差額の大きな要因は、保育士の配置基準が違っていることによるものであるか。

質問：待機児童対策について、全国的に横浜方式に倣っていき動きになっているが、本市は、何を学んで取り入れていくのか聞きたい。
市長：待機児童対策について、全国的に横浜方式に倣っていき動きになっているが、本市は、何を学んで取り入れていくのか聞きたい。

質問：拠点園構想の下で現状の公立保育園の障害児保育は十分であるか。
市長：拠点園構想の下で現状の公立保育園の障害児保育は十分であるか。

質問：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。
市長：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。
市長：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。
市長：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

質問：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。
市長：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

- 岡田 和則……「市長の政治姿勢」
- 前川 綾子……「鎌倉の未来を見据えて」
- 西岡 幸子……「女性の視点での防災対策」「新保育制度について」
- 池田 実……「まちづくりについて」
- 三宅 真里……「安心・安全なまちづくり」
- 長嶋 竜弘……「行政運営の新たな考え方と手法についてVol. 2」
- 吉岡 和江……「ごみ問題について」
- 上島 寛弘……「職員の人事・労務管理について」「公教育の在り方と青少年の健全な育成について」「事務に於けるコストコントロールについて」
- 納所 輝次……「安全・安心まちづくりの推進について」
- 保坂 令子……「情報公開の推進について」「防災対策について」
- 高橋 浩司……「世界遺産について」
- 千代田 一……「高齢者定期巡回型介護について」「重度訪問介護について」「子供達の通学路について」「ペットとの共生について」「どのような立場におかれている市民にも参政権を」
- 日向 慎吾……「地震・津波対策について」「住民基本台帳カードについて」
- 渡邊 昌一郎……「平成25年4月の市議会議員選挙について」「防災の取組について」
- 中澤 克之……「いじめ等について」「子ども達の環境等について」「市長の政治姿勢等について」
- 永田 磨梨奈……「風致地区における個人住宅の建設について」
- 小野 田康成……「災害発生時における諸対応について」「不動産の適正管理について」「災害発生時の障害者に対する諸対応について」

防災対策

本市における防災対策について、次のような質問が行われました。

質問：防災行政用無線が届きにくい難聴地域の対策を教えてください。
市長：防災行政用無線が届きにくい難聴地域の対策を教えてください。

質問：平成17年に示された保育園の民営化計画では、各行政区に市が運営する保育園を一つ残し、その他の方向性には変わりはありますか。
市長：平成17年に示された保育園の民営化計画では、各行政区に市が運営する保育園を一つ残し、その他の方向性には変わりはありますか。

質問：戸別受信機活用の可能性を広げる工夫はあるか。
市長：戸別受信機活用の可能性を広げる工夫はあるか。

質問：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。
市長：津波避難経路の設置は、津波ハザードマップの凡例に、鎌倉の山の地盤は柔らかく、崩落しやすい箇所は、立地条件や建物の高さ等を考慮する必要があるが、津波対策と合わせてどういう計画になっているか。

用語の解説

※印の用語について解説します。
戸別受信機(防災ラジオ) 各家庭で防災行政用無線を聴取できる受信機です。通常はラジオとして使用できますが、防災行政用無線が放送された場合、強制的に切り替わります。



津波避難経路路面シート

避難行動の目安となる沿岸部の道路に設置された避難方向を示したシートです。



都市マスタープラン

都市計画法に規定されている都市計画に関する基本的な方針のことです。長期的視点にたった都市の将来像を明確にし、その実現に向け、大きな道筋を明らかにしています。本市では、平成10年から30年間を計画期間として定めています。

第二の段階で取り組むべきと考える。再度、しっかりとした考えを聞きたい。
市長：プライバシーが守られるよう、より多くの間仕切りを必要を含め、しっかりと女性の視点も入れながら取り組んでいきたい。

井戸として最低限の水質が得られるかどうかを調べる簡易検査に適合し、所有者の了解が得られている井戸は34カ所あり、そのうち停電時でも使用可能な井戸は16カ所ある。
質問：昨年6月、地方防災会議に女性委員の参画を促す災害対策基本法の改正がされた。本市の防災会議の女性委員数はどうか。
市長：現在2名である。防災対策は女性の視点を踏まえて進めることが重要であり、引き続き女性の登用について努力していきたい。

質問：災害から受けるダメージには性差がある。避難生活では女性の負担の増大や、女性への暴力、また男性の仮設住宅における引きこもりや孤立等の問題が報告されている。一人一人の尊厳・安全を守ることが重要だと考えるがどうか。
市長：避難所でプライバシーを守ることは重要と考える。
質問：昨年度、議会が修正した避難所用の間仕切りについての予算に対して、それを否定するよう市長の発言があったと聞いている。考えを聞きたい。
市長：予算の内容についてはしっかりと精査しなければならぬという問題意識を持つ意味から発言したということはあるが、間仕切りを否定しているものではない。また段ボールやプラスチック等で様々な工夫ができるかと考えている。
質問：この間仕切りは、25カ所の避難所に1組ずつ配備されても、一つが10区画にしかならず、十分ではない。工夫をするというのは